

高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20
 高知県健康福祉部障害保健福祉課内
 高知県精神保健福祉協会
 電話：088(823)1111・088(823)9669(直)
 FAX：088(823)9260
 E-mail：kochi-mhwa@s2.dion.ne.jp
 発行人 池田 久男 編集人 谷 晃

第237号

◎第53回高知県精神保健福祉協会 総会

会長に就任して

井上新平



このたび池田先生の後を受け、協会会長に選んでいただきました。伝統ある当協会を引き継ぐことの栄誉を感じますとともに、強い責任も自覚しています。

私が高知県精神保健福祉協会のことを知りましたのは、群馬県図書館の一角でした。高知医大に赴任することが決まり、高知県に関する資料を見ておこうと図書館の資料室に出かけました。大きな書架に各県の資料が漫然と並んでいましたが、高知県のところには、高知新聞や広報誌、観光ガイドなどととも「高知精神衛生」がありました。たしかタブロイド版でした。バックナンバーがそろっていて、昭和30年代の初めにまで遡って保存されていました。中身は良く覚えていませんが、精神衛生活動が盛んな土地柄で何か嬉しかったと記憶しています。

考えてみますと、ずっと昔から協会の新聞が全国の図書館に配布されていたわけです。我々のような精神保健活動では何よりも情報が大切で、精神障害に対する社会的な偏見が減り、障害者が住みやすい社会になるには、良質な情報が広くいきわたることが決定的に重要です。その意味で先達の活動スタイルの斬新さに今さらながら驚いています。このような協会の活動を今後とも引き継ぎ発展させたいものです。話が少し先走りますが、現在情報の授受に

はインターネットが必須です。協会広報部もホームページの立ち上げの検討に入りました。おそらく来年度以降は、新聞に加え幅広いコンテンツによる情報発信ができるのではと期待しています。

当協会が活動を発展させるには、何といたっても財政的基盤が重要です。そこで昨年度「あり方委員会」を立ち上げ、これまでの活動や組織評価の検討を行ってきました。活動の評価については作業を終え、ホームページ開設は検討の中から提案されたものです。大会事業部、総合福祉部など他の部会でも斬新な提案があり、来年度以降より改良された活動スタイルになることでしょう。組織的には、会員を増やすにはどうすればいいのか、特にクリニックの参加をどのように進めていくのか、それと関連して役員の構成はどうあるべきか、社会福祉法人やNPO法人など法人化を考えるべきか等々の重要課題があります。これらは本年度の検討課題です。

これからも会員と力を合わせて協会発展のために尽力しますので、活動を見守っていただき、励ましをいただければ大変ありがたく存じます。

(高知大学 理事(研究担当)副学長)

目次

第53回高知県精神保健福祉協会 総会	会長挨拶	1
	副会長挨拶	2
	前会長挨拶	3

光は南から	4
卓球大会の結果について	5
自殺予防シンポジウム	6

◎第53回高知県精神保健福祉協会 総会

副会長に就任して

幡手 静 幸

副会長に就任して、抱負を書いて欲しいとのことで、依頼されましたが、突然の事でただただ驚いているのみで、抱負どころの話ではありません。会長の井上先生の足は引っ張らないように頑張るだけと考えております。



振り返ると私が高知に参りましてから、早24年の歳月が過ぎ、気がつくとも精神科病院の院長としての期間が一番長くなってしまった事が、副会長の任命となったのかなとも思っています。

この24年間、いろいろなことがありましたが、医療・福祉・保健の分野においても様変わりしたように思われます。

これからは以前に増して、変化も大きくなり、私のような頭の古い人間には大変な時代になるのではないかと大きな不安を抱えています。

高知県精神保健福祉協会においても啓蒙活動の問題、保健福祉の問題、会員数等の問題、等々あり、またどれをとっても、答えがなかなか見えてこない感じが強くしています。

井上会長を先頭に、また皆様がたの足を引っ張らず、邪魔にならないように頑張ろうと考えております。

(高知鏡川病院院長)

就任挨拶

明 神 和 弘

この度、協会会長の井上先生から御指名を受け副会長に就任いたしました。私ごとき者にこんな大役が務まるのだろうかと思いましたが、「自分もこんな役職が回ってくる年齢になったか」と自分の年を振り返り複雑な思いになるとともに、私でも何かお役に立つ事ができるのではないかと考えお引き受けすることにいたしました。



精神の健康の問題が多く、マスコミで取り上げられ、社会的にも重大な問題とみなされるようになってきた今、私たち協会に対する期待や要望はますます高まってゆくものと思われます。

従来の精神疾患に関する問題に加え、社会的な問題ともなっている虐待や家庭内暴力、若年層による凶悪犯罪、中高年層の自殺の増加、高齢者増加による認知症の問題など精神保健にかかわる問題は山積されております。どの問題も簡単には解決しそうにもありませんが、これらの問題を問題として取り上げ、多くの人達と共に考え意見を出し合い、関係者の皆様と協力し、社会全体で問題に対処し解決していく体制ができれば、私たちの生活や暮らし方もより楽になるのかもしれない。精神保健福祉協会が中心となってこのような活動ができればよいと考えております。

微力ではありますが会長を助け頑張っていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

(近森病院第二分院院長)

◎第53回高知県精神保健福祉協会 総会

会長を辞任して

池田久男



今年4月25日に開催した第53回高知県精神保健福祉協会定例総会において、精神保健福祉協会会長を辞任することが正式に承認されました。長期間、公私に亘り、ご指導・ご支援・ご協力いただきました会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

振り返れば、私が前会長、田辺善丸先生の後任として、会長に任命されましたのは、平成2年4月の総会であります。それから数えて、実に18年間の長きにわたって、会長を勤めさせていただきました。この間、私の力不足で、協会の発展や充実に役立つことは何一つできておりませんが、他方で会員の皆様にご心配、ご迷惑をお掛けするような不祥事もなく、無事この度の退任の時を迎えることができましたのは、一重に会員の皆様、とくに事務局職員や理事の皆様のご指導、ご協力があったからこそと今更ながら感謝の気持ちでいっぱいでございます。

他県の精神保健福祉協会会長から度々質問を受け、羨ましがられる制度に、本県協会の「精神障害者自立サポート基金」があります。この基金は、本協会の「基金管理運営部」が所管し、障害者の自立をサポートする作業所への貸付けに役立っています。この基金制度は平成9年に高知県から支給された250万円を基に設立され、その後多くの方々の寄付により、現在では1000万円に達する貴重な基金に育っています。最近では年間5～6作業所がこの基金を有効に利用して下さっています。私はこの事業が本協会の特筆すべきものの一つと考え、次期会長の下でも健全に、更に大きく育つことを願っております。

4月の第53回総会においては、私の会長辞任と共に、新会長に井上新平氏(現在高知大学副学長、前高知大学医学部神経精神医学教室教授)が任命されま

した。私としましては最高、最適の方が新会長に就任されることを心から喜んでおります。会員の皆様方には、これまで同様に、新会長にご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成3年6月25日発行の「高知精神衛生169号」(当時)紙面



からだ・くらし・すこやかに



大日本住友製薬

www.ds-pharma.co.jp

光は南から

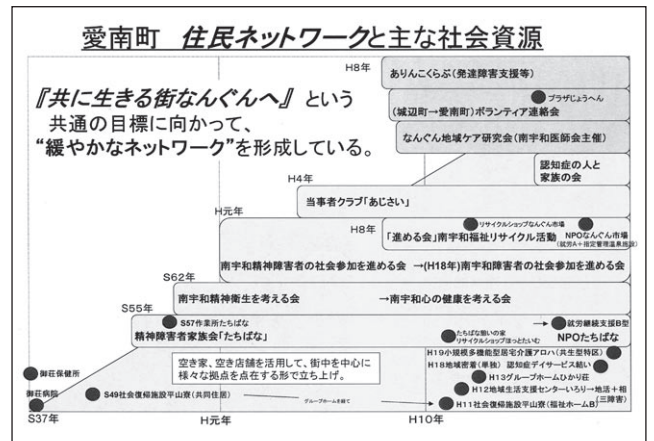
南宇和郡愛南町の障害者も参加するまちづくり

厚生労働省の「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」において、愛媛県南宇和郡愛南町で障害者も参加する地域振興の実践について報告された、「NPO法人ハートinハートなんぐん市場」理事の長野敏宏氏(御荘病院長)にお話を伺いました。

「なんぐん」とは愛媛県南宇和郡の愛称で、平成16年10月に城辺・御荘など南宇和郡5ヶ町村が合併して愛南町ができました。(平成20年6月現在人口26413人)

昭和40年代から御荘保健所を中心とした保健医療の連携がすでにあり、昭和49年に全国に先駆けて精神障害者の共同住居「社会復帰施設平山寮」が開設されました。御荘病院を運営する財団正光会が御荘湾内にあった真珠養殖の作業場・職員住宅など施設と山林を含む広大な敷地を買い上げ、法によって規定される前から退院後帰る家のない人のため共同生活の場として提供しました。病院を退院した寮生が、周辺住民の支援を受けて養豚・果樹栽培・漁業などに取り組み、自主運営で自立した生活をもとめ昭和50年代にかけて活発に活動しました。

昭和60年代には、精神保健関係者が一堂に会する研修・交流の場として「南宇和心の健康を考える会」というネットワークが組織され、平成になって「考えるだけではなく行動を」をスローガンに精神障害者への具体的な支援をする「南宇和精神障害者の社会参加を進める会」が、専門家に限らず地域で千名を越す規模になりました。その具体的な活動として平山寮の敷地で始まった物品の回収・販売を行う「福祉リサイクル」活動が、放置竹林を整備する森林ボランティアから竹炭の製造販売などへと広がり、平成12年に御荘の街中に開店した「なんぐん市場」へと発展しました。



平成18年春には観葉植物レンタル事業を加えNPO法人「ハートinハートなんぐん市場」となり、さらに町営「山出(やまいだし)憩いの里温泉」の運営を指定管理者として受託し、就労継続支援A型事業も運営することとなりました。

NPO法人ハートinハートなんぐん市場の特徴

- 多職種の理事・中核メンバー(養殖業、清掃業、縫製業、植栽業、建設業、地元主婦、当事者、医療・福祉等)。
- H18年度障害者自立支援調査研究プロジェクトを機に指定管理者として「山出憩いの里温泉」の町の委託を受け、更に就労継続支援A型事業も活用して運営。
- 全国で実践可能な一つのソーシャルファームビジネスモデル。(収益事業+指定管理者制度&自立支援法)
- 豊かな海・山の幸、温泉をご用意し、様々な研修や”人”をキーワードとしたニューツーリズム。地域の多分野の方々と協働しながら、愛南町に多くの人をお迎えしたいと計画、準備、実践を始めている。



他方「良い医療は小さい医療」と考える御荘病院では、地域での受け皿創りに歩調をあわせ、昭和末年には149床あった病床を本年度には80床にまでダウンサイズとユニット化を進め、デイケア・ナイトケア、訪問看護ステーションを整備してきました。いわゆるアウトリーチサービスの充実をはかり、地域での生活を守りつつ再発再入院をふせぐ車の両輪の役割を果たしています。また認知症の医療や福祉にも積極的に取り組み、町内の目抜き通りに介護事業を展開するなど、地域にとって多面的に欠かせない存在になっています。

障害者のみを対象として社会復帰や自立を支援するという部分的な捉え方ではなく、その地域全体が経済活動も含めてまるごと元気になるような「包括的」な取り組みとして、地域にある社会資源がそれぞれにたくさんの場面でつながりを持ちつつ、全体として地域を盛り立てていこうという壮大な構想です。少子高齢化過疎化の中での障害者福祉の一つのモデルが、長年の持続的で重層的な取り組みによって、高知県の隣「なんぐん」にあります。

(文責:谷)



平成20年度 高知県精神保健福祉卓球大会の結果について

高知県精神保健福祉協会 総合福祉部

- I と き 平成20年7月1日(火)
- II ところ 高知県民体育館(高知市棧橋通2丁目)
- III 日 程 開会式 9:00 試合開始 9:20
閉会式 15:00
- IV 参加団体 15施設
土佐病院、海辺の杜ホスピタル、藤戸病院、同仁病院、メンタルクリニックちかもり、高知ハーモニーホスピタル、細木ユニティ病院、石川記念病院、南国病院、高知ダルク、施設連合、一陽病院、田辺病院、芸西病院、棧橋みどりクリニック
- V 個人戦
男子個人戦優勝 …… 施設連合
男子個人戦準優勝 …… 田辺病院
女子個人戦優勝 …… 海辺の杜ホスピタル
女子個人戦準優勝 …… 細木ユニティ病院

VI 団体戦

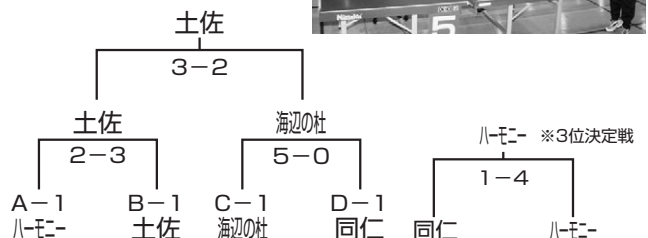
(Aゾーン)					(Bゾーン)				
	ダルク	ちかもり	ハーモニー	棧橋みどり		土佐	芸西	田辺	施設連合
ダルク		3-2	0-5		土佐		5-0	4-1	
ちかもり	2-3			2-3	芸西	0-5			0-5
ハーモニー	5-0			4-1	田辺	1-4			2-3
棧橋みどり		3-2	1-4		施設連合		5-0	3-2	

*土佐・施設連合は、共に2勝のためセット数で土佐に決定

(Cゾーン)					(Dゾーン)			
	南国	海辺の杜	石川記念	細木		藤戸	一陽	同仁
南国		1-4	1-4		藤戸		4-1	2-3
海辺の杜	4-1			4-1	一陽	1-4		2-3
石川記念	4-1			2-3	同仁	3-2	3-2	
細木		1-4	3-2					

●団体戦の結果

- 優勝 土佐病院
- 準優勝 海辺の杜ホスピタル
- 第3位 高知ハーモニー・ホスピタル
- 第4位 同仁病院



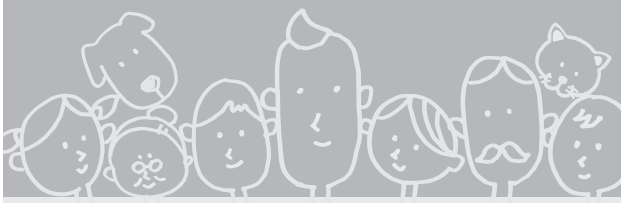
あなたの思い

「死にたい」と
思っていますか

伝えて下さい

日時 平成20年9月20日(土) 13:00~16:40
 会場 高知新阪急ホテル 3階 蘭の間
 高知県高知市本町4丁目2番50号
 主催 高知県・厚生労働省・内閣府
 定員 250名
 参加費 無料 要事前登録(裏面の申込方法をご覧ください)
 ※当日は託児サービス(無料・要予約)、シンポジウムの手話通訳も行います。

**自殺予防シンポジウム
in
高知**



自殺予防シンポジウム in 高知のご案内

- プログラム**
- 12:30 開場
 - 13:00 開会あいさつ 高知県知事 尾崎 正直
厚生労働省
 - 13:10 基調講演「自殺、そして遺された人々」
講師 防衛医科大学校 教授 高橋 祥友
 - 14:10 自死遺族の体験談
 - 15:00 パネルディスカッション
テーマ：「生きる」を支えるー
~自死遺族・自殺未遂者を地域で支えるために~
コーディネーター
山崎 正雄 県立精神保健福祉センター 所長
パネリスト
西山 謹吾 高知赤十字病院 救命救急センター長
杉本 園子 高知県臨床心理士会 会長
小林 哲夫 全日本断酒連盟 参与
塩治 一彦 高知うるこの会(けや金被害者の会) 事務局長
 - 16:40 閉会
- 無料託児サービスコーナー**
 保育士による無料託児サービスコーナーを設置いたします。
 お子さま連れでも安心してご参加いただけます。
- 問い合わせ先**

高知県健康福祉部障害保健福祉課
 TEL 088 (823) 9669
 FAX 088 (823) 9260

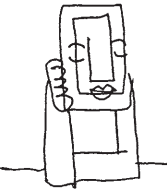
後援
 高知県医師会 高知県精神科病院協会 高知県精神神経科診療所協会
 高知県臨床心理士会 高知臨床心理協会 高知県精神保健福祉士協会
 高知弁護士会 高知県司法書士会 高知いのちの電話協会
 高知社会福祉協議会 NHK高知放送局 高知新聞社
 RKC高知放送 KUTVテレビ高知 KSSさんさんテレビ
 高知ケーブルテレビ エフエム高知



「医薬を通じて、
人々の健康と幸福に
貢献したい。」
これが吉富薬品の願いです。

 吉富薬品株式会社

たとえば、
ナイチンゲールだったら
どうするだろう、
と考える。



彼女の直筆の文字を使った
このマークを見るたびに、いつも、
自分たちに問いかけています。



ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ
<http://www.eisai.co.jp>